

再評価調査

事業名	一級河川木野川改修事業			
所在地	豊能郡能勢町野間稲池～地黄（野間川合流点～一級始点）			
再評価理由	事業採択後 10 年を経過した時点で継続中			
事業概要	目的	木野川は圃場整備事業関連で河道付け替え工事が実施されているが、板柵を用いた仮護岸河道であり時間雨量 50 ミリ相当（1 / 10 確立降雨）に対して流下能力が大きく不足しており、洪水による被害を防止するため河川改修を進める。		
	内容	改修延長：約 1,800m、護岸工：約 1,800m、橋梁架替：5 橋、 用地買収：約 12,200 m ² 目的流量：65 m ³ /s（時間雨量 50 mm 相当） 治水安全度（着手前）：16 m ³ /s（田子橋下流付近）		
	事業費	12.15 億円 （内訳） 工事費：9.5 億円 用地費：2.65 億円		
	維持管理費			
	上位計画	淀川水系工事实施基本計画書		
	関連事業	国道 477 号バイパス事業、東郷地区圃場整備事業、地域改善事業		
	経過	計画時の想定	現時点での状況	分析
事業の進捗状況	事業採択年度	H5	-	
	事業着手年度	H5	事業着手年度 H5	
	完成予定年度	H17	完成予定年度 H18	
	進捗状況	用地 100 % 工事 60 %	用地 100 % 工事 39 %	事業費の確保ができなかった。
途中段階の整備効果発現状況	改修済み箇所から氾濫防止が図れる。	同左	改修済み箇所では効果有り。	
事業進捗に関する課題	関連事業の国道 477 号バイパス事業との工程調整。東郷地区圃場整備事業、地域改善事業の完了に伴う河川改修事業の早期完了（地元要望）。事業費の確保。			

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	現時点での状況	分析
		河川事業 ・ 想定氾濫区域：66 ha ・ 浸水戸数：80 戸 関連事業 ・ 東郷地区圃場整備事業 85 ha ・ 地域改善事業 29 ha ・ 国道 477 号バイパス事業 L = 3,000 m W = 10.5 m	河川事業 ・ 同左 ・ 東郷地区圃場整備事業完了（S62～H13） ・ 地域改善事業完了（H2～H9） ・ 国道 477 号バイパス事業事業中（H8～H18）	
地元等の協力的体制		圃場整備事業との連携により用地買収に協力的である。	用地買収は完了しており、現在も工事に対して協力的である。	概ね順調に推移。

		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析			<ul style="list-style-type: none"> ・ $B / C = 22.0$ 便益総額 $B = 284.74$ 億円 総費用 $C = 12.96$ 億円 ・ 費用便益算定の根拠：治水経済調査マニュアル（案） ・ 便益内容：資産被害抑止効果 ・ 受益者：周辺住民、農業従事者 	
	その他の指標（代替指標）	事業効果 <ul style="list-style-type: none"> ・ $C / B = 1.4$ 年平均被害軽減額 $B = 8.2$ 億円 総事業費 $C = 11.4$ 億円 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便益内容：資産被害抑止効果 ・ 受益者：周辺住民、農業従事者 ・ 事業効果算定の根拠：治水経済調査要綱 		
事業効果の定性的分析	安全・安心	・ 浸水被害の軽減（生命、財産）	・ 受益者：周辺住民、農業従事者	・ 同左	
	活力	・ 交流拠点の形成（良好な水辺空間）	・ 受益者：周辺住民	・ 同左	
	快適性	・ 景観（周辺地域と調和した水辺景観）	・ 受益者：周辺住民	・ 同左	
	その他	・ 自然環境（生態系の保全）		・ 同左	
自然環境等への影響と対策		洪水時の目標水位を確保するため、概ね全区間で河積の確保が必要となり、河川環境に影響を与えることになってしまうが、ホタルブロック、木工沈床、蛇籠等を設置することにより、水生生物、水生植物群の生息しやすい環境の河川改修とする。		・ 同左	
その他特記すべき事項					